
第69回たすけあい作文コンクール

募 集 要 綱

1 趣 旨

高齢者も若者も、障がいがある人もない人も、男性も女性も、日本国籍の人もそうでない人も、みんながいきがいを持って生き生きと暮らせる社会「共に生きる福祉社会」は、私たちの目指す社会です。

「共に生きる福祉社会」は、地域に住む一人ひとりが、日常のふれあいの中で、お互いを尊重し、思いやり、支えあい、たすけあう心をもってはじめてできるものです。

次代を担う小・中学校の児童・生徒の皆さんが、思いやりの心、たすけあいの心を、学校や毎日の暮らしのなかで考え、育て、実践し、新しい福祉社会をつくる大きな力となつてほしいとの願いを込めて、たすけあい作文コンクールを実施します。

児童・生徒の皆さんの心の優しさを育てる機会として、多数のご応募をいただけますようお願いしております。

2 主 催

社会福祉法人 新潟県共同募金会

3 後 援

新 潟 県
新 潟 県 教 育 委 員 会
新 潟 日 報 社
N H K 新 潟 放 送 局
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会

4 作文の内容

児童・生徒の皆さんが福祉について、日常生活を通して感じたこと、体験したこと等を自由に表現した作文とします。

- (例) ★高齢者に親切にしたこと ★障害がある人とふれあったときのこと
★社会福祉施設で暮らす人のこと ★地域社会・学校・家庭で体験したこと
★募金活動を通して考えたこと ★震災や災害などで感じたこと、考えたこと

5 応募の方法

(1) 応募資格

新潟県内の小・中学校及び特別支援学校(小学部・中学部)に在籍する児童・生徒

(2) 題 名

題名は自由とします。

(3) 字 数

小学生 800字～1,200字以内(400字詰め原稿用紙 2枚～3枚)

中学生 1,200字～1,400字以内(400字詰め原稿用紙 3枚～3枚半)

原稿用紙内、頭書3行に題名、学校名、学年、氏名(ふりがな)及び性別を必ず明記してください。(字数には含まれません。)

なお、学校単位で応募する場合は、担当する先生のお名前を封筒等に必ず明記してください。

(4) 条 件

未発表の作文で、自筆のものに限ります。

ただし、自筆が困難な場合は、当会にご連絡ください。

(5) 締 切 日

令和3年9月14日（火） ※当日消印有効

(6) 送 付 先

社会福祉法人 新潟県共同募金会

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 （新潟ユニゾンプラザ 3F）

T E L 025-281-5532 F A X 025-281-5533

6 審 査

新潟県・新潟県教育委員会・日本放送協会新潟放送局・新潟日報社・新潟県社会福祉協議会・新潟県共同募金会等で構成する審査委員会を設け、小学校の部・中学校の部に分けて、入賞各3編、佳作各10編を選出します。

7 各賞及び記念品

入選した児童・生徒には、それぞれ賞状と記念品を贈ります。

(1) 入 賞（小・中学校の部各3編）

次の賞のいずれかを一つ贈ります。

新 潟 県 知 事 賞

新潟県教育委員会教育長賞

新 潟 日 報 社 長 賞

N H K 新 潟 放 送 局 長 賞

新潟県社会福祉協議会長賞

新潟県共同募金会長賞

(2) 佳 作（小・中学校の部各10編）

新潟県共同募金会賞を贈ります。

(3) 応募者全員に参加賞として粗品を贈呈します。

8 表彰式

入賞者の表彰式は11月下旬に行う予定です。

9 発 表

審査の結果は、令和3年12月上旬までに新潟県共同募金会から学校を通じて入選者に通知する予定です。

また、入賞作文はNHKラジオによる放送及び新潟日報の紙面に掲載する予定です。

10 その他

応募作品は返却いたしません。

また、応募者の学校名・氏名等は、「たすけあい作文コンクール」事業以外には使用いたしません。入選者（入賞・佳作）につきましては氏名・学校名・作品を公表します。

なお、作品中で個人が特定される表現がある場合は、個人が特定できないよう修正する場合があります。